

令和7年度

指導計画・評価計画表 【1年生 美術科】

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

学習単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足B）	評価方法・場面	弱点克服
授業ガイダンス 文字のデザイン 4月～5月	1	・文字のデザインを鑑賞しその機能を理解するとともに、描く技能を身につけることができる	・書体の基本的な構成要素について理解している。 ・さまざまな書体に興味を持ち、描こうとしている。	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	作業手順の確認
	2	・文字のデザインについての知識を生かして目的を持ったデザインにおいて書体を選択することができる。	・丁寧に美しい作品を仕上げるができる。 ・道具を適切に選択し、使用することができる。		鑑賞を生かす
	3	・文字のデザインについて興味を持ち、意欲をもって学習することができる。	・道具の名称や使用方法を理解して使える。		自己評価シート
「自分のマークを考えよう」 目的を持った表現 5月～6月	1	・文字の変形、組み合わせでマークをデザインできる。 ・マークを彩色することができる。	・丁寧に美しい形にすることができる。 ・色の効果を考えて彩色できる。	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	作業手順の確認 試作する
	2	・発想を生かして個性的で豊かな作品をつくれる。 ・色を混色して美しくマークを彩色できる。	・書体を変形したり組み合わせたりした表現ができる。 ・目的に合った効果的な彩色ができる。		鑑賞を生かす 試作する
	3	・意欲的に取り組み、自他の作品から良さや美しさを見つけ感想を述べるができる。	・意欲をもって取り組み期限までに完成させられる。 ・手順や注意事項・用具の使用法などを考え取り組む。		自己評価シート
ステンシル版画 「自分のマークを印刷しよう」 6月～7月	1	・版画の原理を理解し製版ができる。 ・カッターを適切に使用して絵柄をカットできる。	・丁寧にカットして耐久性のある版を作る。 ・原理を理解した印刷ができる。	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	作業手順の確認
	2	・孔版の特徴を生かした図案を考えられる。	・島ができないように図案作成ができる。 ・マークを美しくステンシル用にアレンジできる。		鑑賞を生かす
	3	・製版作業を計画的に進められる。	・丁寧に美しい作品を仕上げるができる。 ・道具を適切に選択し、使用することができる。		自己評価シート
ペーパークラフト 9月	1	・紙の特性を生かして立体化できる。	・適切設計と丁寧な組み立てができる。	作品と設計図	作業手順の確認
	2	・立体的な組み立て方を考え実現できる。	・立体になったときの形を想像してデザインできる。	作品	鑑賞を生かす
	3	・手順を考えて作業を進められる。	・設計、カット、組み立ての工程を手際よく進める。	作品、自己評価シート	自己評価シート
粘土を使った表現 「リアルに作る」 10月～12月	1	・実物や写真を観察してスケッチすることができる。 ・スケッチをもとに立体的に表現できる。 ・色や表面の処理で質感を表現することができる。	・大きさや質感をとらえて描くことができたか。 ・スケッチをもとに形をつくることができる。 ・質感を凹凸や色で表現できたか。	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	作業手順の確認 試作をする。
	2	・観察して対象の特徴をつかんだスケッチができる。 ・大きさや質感をとらえて対象物らしさを表現できる。 ・対象物の全体と細部を意識した制作ができる。	・対象の観察ができているか。 ・観察の結果として必要な特徴をとらえているか。 ・形だけではなく質感まで表現できたか。		鑑賞を生かす 試作をする。
	3	・粘土という素材の特徴を理解して手順よく作業を進めることができる。	・手順を考えて見通しを持った作品作りができる。		自己評価シート
透明水彩絵の具 「透明水彩の特徴を生かした絵画表現」 1月～3月	1	・ポスターカラーとの違いを理解し、練習を生かして表現につなげる。	・透明水彩らしい表現を理解し、練習を繰り返すことで技能を向上させて、作品に生かすことができる。	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	作業手順の確認 試作
	2	・透明水彩らしい効果を表現に生かすことができる。	・透明感のある透明水彩らしい表現で描くことができる。		鑑賞を生かす
	3	・試作を生かして粘り強く描くことができたか。	・練習を表現に生かして透明水彩らしい表現で作品を仕上げるができる。		自己評価シート